

新年のごあいさつ



合志市長
大住 清昭

全国に誇れる市へ

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

合志市は、昨年の2月27日、旧合志町と旧西合志町が合併し新しく誕生いたしました。したがって、昨年は合志市の歴史のはじまりの年であり、目まぐるしい一年でありました。旧町、それぞれの歴史や伝統や文化の違いがある中で合併することができましたのは、市民の皆さまをはじめ多くの関係者の方々のご指導、ご協力の賜とここに改めて感謝申し上げます。

合併しまして早速、旧合志町議会議員と旧西合志町議会議員の方々が法律に基づき、在任特例による新市の市議会議員となられ、3月2日に初議会が開催され、新しい市議会の議会構成が決まりスタートしました。新市の市長選挙は4月2日に執行され、不肖、私が市民の皆さまの信託を受けその役目を果たすことになりました。

新市建設計画で掲げられた「人と自然を大切にした協働のまちづくり」を基本理念とし、「未来輝く産業・定住拠点都市・子育て支援日本一のまちづくり」を将来像として、平成19年には、市の将来の指針となる基本構想として

の総合計画を策定する予定であります。昨年から、市民の皆さまの代表で構成する総合政策審議会を設置し、具体的な論議を始めております。

私が市長選挙で訴えてきました「全国に誇れる個性ある合志市、市民の生活の質が高い合志市」の建設に向けて、合併2年目の年を、もてる力を出し切って全力投球いたす所存であります。市民の皆さまのご指導・ご協力の程、切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、2007年が皆さまにとりまして幸多い年でありますようご祈念し、新年のごあいさつと致します。

新年明けましておめでとうございます。
皆さま方には、ご家族お揃いで希望に満ちた新春をお迎えのことと謹んでお喜び申し上げます。

新しい自治体「合志市」となりましてから、来月で早1年が経過しようとしています。その間、議会としましては、行政事務組織の再編と事務事業および予算の見直し等、合併のメリットを最大限に生かすべく、市政運営に対し意見、提言を行ってまいりました。地方分権の推進、行財政基盤の強化、少子高齢化への対応など、これからの自治体の役割は重大であります。

全国的な経済情勢は、回復傾向にあるものの、その実感は遠く、まだまだ国の財政事情は厳しい状況であり、地方への権限委譲、地方交付税の削減、高齢者社会に対する新たな事業の取り組みなど、国の負担軽減措置は続くものと思われま。したがって、このような情勢を踏まえ、地方は事業への負担割合が増加傾向にあり、さらに厳しい財政運営を強いられています。

そのような中、合志市は合併以降900人を超える人口増をみており、今後も増加傾向にあります。また、地理的優位性から企業の進出もあり、活力感あふれる将来性のある自治体となる

要素を秘めているように感じます。
市の将来設計図である総合計画（基本構想）づくりが進められておりますが、市民の皆さまが安心して安全な、そして安定的な生活ができるような計画にしていかなければなりません。

今後とも、市民の負託に応えるべく、合志市の安定的発展に向けて懸命に努力してまいります。

どうか2007年が皆さまにとって幸せ多き1年となりますようご祈念いたしますとともに、市政運営にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。まして新年のごあいさつと致します。



合志市議会議員
吉廣 満男

安心・安全を目指して